

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画			
時 期	3年前期	単 元	実 習	教科名	板 金	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産車体士テキスト		発行日	2026年3月31日
			日産塗装士テキスト			
総時限	41			教科		上 谷 晃一
総時間	65.6			担当		濱村 和樹

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

車体整備士として自動車板金、塗装全般の実務経験がある教員により板金全般の工具の取り扱い、損傷部分の修正について指導

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- 板金作業の安全について
- ハンマー・ドリル等の使用方法を理解する
- 溶接部の研磨について理解する
- パネルの凹凸について理解する
- 板金パテの成形、研磨を理解する

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- 車体整備（板金）に関する基礎知識、基礎作業について理解する

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 実習授業時に行なう板金作業が正しく出来るか、又、筆記試験の記述により100点満点で評価する
- 合格点：60点以上
 - 80点以上：優
 - 60点以上：良
 - 60点未満：不可
- 不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- 再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

- 過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	板金	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	車体板金作業の安全性について				・ハンマー、ドリー	
2	ハンマーのメンテナンス				・水研ぎペーパー	
3	ドリーのメンテナンス				・磨き剤	
4	"				・作業用机	
5	定盤使ったハンマーの手首打ち				・定盤、ゴムマット	
6	オンドリーによる平板からのおわん作り				・定規	
7	"				・罫書き棒	
8	"				・罫書きコンパス	
9	オンドリーの狙い撃ち。					
10	オフドリーによる直し。				・ダマート鉛筆	
11	"				・平板パネル	
12	中規模へこみのハンマリングによる直し。					
13	"					
14	" スタッド養殖機による電気絞り。					
15	"					
16	"					
17	" パテの説明。					
18	パテ付けの練習。					
19	パテ研ぎの練習。					
20	"				・フェンダーパーツ	
21	新品フロントフェンダーを使った板金実習。オートポンチ跡の修正。				・スプレースタンド	
22	"				・木ハンマー	
23	"				・影タガネ	
24	" ペーパー目消しの説明。				・スプーン	
25	"				・溶殖機	
26	"				・スライド・ハンマー	
27	中古フェンダーを使った板金。清掃、影タガネを使ったラインだし。				・パテ類	
28	" スタッド養殖機による引き出し。				・パテツシュ	
29	" CDスタッド、ローラー絞りの説明。				・パテヘラ	
30	" プレスラインのパテ付け法。				・ラッカーシンナー	
31	" プーラー類の説明。				・ウエス	
32	"					
33	"					
34	"					
35	"					
36	"					
37	新品フェンダーのプレスラインを含む損傷の修正。					
38	"					
39	"					
40	"					
41	"					

※ 期末試験は授業時間に含まない